

朗読 × 映像

非核・平和都市宣言40周年記念イベント

星は見ている

～原爆でわが子を亡くした父母らの手記より～

1月25日(土) 開演14:00～

開場13:30

会場：市民センター ホール

満員の際は、入場をお断りする場合がありますのでご了承ください。

朗読者

紺野美沙子さん

先着

300名

(入場無料)



朗読座HP

主催 銚子市

問い合わせ 銚子市総務課 ☎ 0479(24)8190



銚子市では、昭和59年9月14日に非核・平和都市宣言をおこないました。

世界唯一の原爆被爆国民として、また、先の第二次世界大戦による戦禍の上に今日の平和を享受している銚子市民として、われわれは、再び戦争の惨禍が繰り返されないことを念願する。これは、全世界の人びとに共通する願いであると確信する。

よって、非核三原則の堅持とすべての国の恒久平和実現を希求して、ここに銚子市を「非核・平和都市」とすることを宣言する。

銚子市は、昭和59年(1984年)6月の市議会において市民1,480人から提出された請願が全会一致で採択されたことを受けて、9月に「非核・平和都市宣言」を行いました。

非核・平和都市宣言40周年記念イベント 「星は見ている」朗読×映像

合唱: ちょうし少年少女合唱団

報告発表: 中学生派遣団

朗読座の公演: 紺野美沙子さん

INORI~祈り~の独唱:
古田葉子さん(銚子市民合唱団)

「朗読座」主宰 紺野美沙子さん

1980年、慶応義塾大学在学中にNHK連続テレビ小説「虹を織る」のヒロイン役で人気を博す。女優として活躍する傍ら、国連開発計画親善大使としても活動中。2010年秋から「紺野美沙子の朗読座」を主宰。NHKエフエム「音楽遊覧飛行」案内役を担当。元祖スー女としても知られ横綱審議委員でもある。世界中で紛争が続いている今だからこそ、「平和の大切さ」「日常のかけがえのなさ」を伝えることができると、「#星は見ているを語りつぐ」活動を展開しており、広島平和記念資料館をはじめ各地のホールや図書館で朗読会を開催している。



中学生派遣団と市長

広島ピースボランティアのガイドさんと一緒に

中学生派遣団

銚子市は、非核・平和事業の一つとして、広島や沖縄に、未来を担う中学生を派遣し、平和の尊さを改めて感じてもらい、広めてもらうことを目的に、中学生派遣事業を実施しています。今年度も、4名の中学生を広島へ派遣しています。

INORI~祈り~

佐々木禎子さんの甥にあたる佐々木祐滋さんが禎子さんをモチーフに作った楽曲です。被爆して10年後に白血病を発症し、鶴を千羽折れば治ると病床で祈り続けながら12歳でこの世を去った禎子さんは、広島平和記念公園にある「原爆の子の像」のモデルでもあります。